

1 研究計画の策定

STEP7までのことを踏まえて研究計画を立てます。研究計画は十分なグループディスカッションをとおして、班員全員が納得できるものとしします。この計画をしっかりと組み立てることができるかどうかの研究の成否を左右するといっても過言ではありません。「研究計画書」(pp.64-65 様式3)は、アドバイザーの先生の指導のもとに時間をかけて綿密に仕上げるようにしましょう。

2 「研究計画書」の書き方

項目	記述する内容
1 研究テーマ	疑問文の形で書きます。この研究テーマに付随するサブタイトル（研究テーマのあとに「-○○○-」のようにハイフンで挟む形で記述する）を付けることも可能です。
2 研究の背景	現状の問題意識を書きます。ここには先行研究を読解して、そこから生まれた新たな問いが当てはまる場合もあるでしょう。この研究テーマを選ぶに至った経緯について具体的に記述します。
3 研究仮説	『課題研究』の進め方」のSTEP 5「仮説を設定する」(pp.11-18)で設定した研究仮説を書きます。研究仮説を検証していくことが、本研究の目的となります。
4 研究の意義	研究テーマについて現時点で明らかになっていることを記述します。
5 研究の方法	研究仮説を検証するために、どのような方法を用いるのか、「STEP 9 調査・実験を行う」(pp.30-36)で示した研究方法の中から最もふさわしいものを選び、その内容と流れを具体的に記述します。たとえば、「調査」をする場合は、誰を対象にするのか、どのように頼むのか、調査人数を何人にするのか、などについて記述します。
6 研究スケジュール	課題研究ロードマップ (pp.3-4)を見ながら、「5. 研究の方法」で挙げた研究をいつ、どこで行うのか書いていきます。その際、時期については「○月上旬」など大まかな目安でよいこととします。「資料分析」をはじめ研究仮説の検証を行う際の調査活動にどの程度の時間を要するのか、結果の分析に要する時間はどの程度か（たとえば、前述のとおりインタビュー調査の文字起こしには相当な時間を要する）、など十分に検討した上でスケジュールを立てます。また、自分たちが計画したとおりにすすむとは限らない（アドバイザーの先生の指導により、修正を迫られる場合もあります）ので、余裕を持ったスケジュールを立てることが肝要です。
7 参考文献	それぞれの参考文献について、著者名・書名・出版社名を書きます。これまでに読解した文献等、今後読解する予定の文献等をすべて記述します。
8 現時点における課題	今後研究を進めていく上での課題を箇条書きで書きます。アドバイザーの先生に分かりやすいよう、1つの文章に1項目ずつ書くようにします。アドバイザーの先生と相談しながら、それらを一つひとつクリアしていくよう努めましょう。